

基本情報



【年 齢】
29歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
北海道江別市
【前 職】
学生
【活動時期】
R3.4~R6.3

協力隊に応募したきっかけ

旅行でみた北海道の雄大な自然に憧れて、北海道の大学に進学し、野生動物について学びました。卒業後も自然に関わる仕事がしたいと考えていたところ、羽幌町で環境保全活動や環境教育に係る地域おこし協力隊の募集を見つけました。募集を知るまで“海鳥”についてほとんど知らなかったのですが、新しい分野への好奇心がありました。また、大学進学前に北海道に行った際に冬の北海道の荒々しい日本海に衝撃を受けてから、冬の日本海の荒々しい海が好きで、「ここで暮らしたい」と思い、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

羽幌町に来てから、念願のハンターになることができました。大学の頃から、農業被害の防除や捕獲・駆除個体の有効活用について関心があり、地域の人と野生動物の軋轢について取り組んでいきたいです。留萌管内には販売・流通が可能なジビエの食肉加工場はなく（2023年11月時点）、加工場設置のため経験を積んでいきたいと思えます。

活動内容

●シーバードフレンドリー認証制度のリニューアル

シーバードフレンドリー認証制度とは、地域事業者の環境にやさしい取り組みを認証し、消費者へ啓発することで、環境保全と地域産業振興の両立を目指す羽幌町のローカル・エコ認証制度です。100万羽の海鳥が毎年訪れる羽幌町で、海鳥をとりまく自然環境（海・川・里・森）の保全を地域産業に広めていくため、2018年度からスタートしました。リニューアルでは、認証エリアを羽幌町から留萌管内に広げ、漁業・農業の具体的な認証基準を作成しています。



●羽幌高校とシーバードフレンドリー推進協議会連携の環境教育

協議会と羽幌高校の連携のもと、毎年「総合的な探究の時間」カリキュラムの中で、地域の自然環境と抱えている課題について学ぶ環境教育の授業を行っています。

9月のはぼろサンセットビーチの海岸清掃では、北るもい漁業協同組合や羽幌ロータリークラブにもご参加いただきながら行っており、海洋ゴミやプラスチックの問題を身近に感じてもらって“自分達に何ができるか”を考えてもらいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））c-seisaku@town.haboro.lg.jp
（電話番号（職場））0164-68-7013

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（協力隊HP）<https://haborokyoryokutai.wixsite.com/ororon>